

第2期名古屋市ひとり親家庭等自立支援計画

～ひとり親家庭等の自立と子どもの健やかな育ちを目指して～

名古屋市

はじめに

ひとりで家庭を支えなければならない母子家庭や父子家庭といったひとり親家庭の生活は、一昨年秋以降の経済危機の影響もあり、その多くが経済的に困難な状況におかれています。平成21年度に厚生労働省が初めて公表した、日本における子どもがいる世帯の相対的貧困率の中でも、ひとり親家庭はかなり高い貧困率になっています。このような「子どもの貧困」という問題の改善を図るためにも、ひとり親家庭支援の必要性が高まっています。

本市ではこれまでも、平成17年に策定した「ひとり親家庭等自立支援計画」に基づき、ひとり親家庭の生活の安定と向上を図るとともに、子どもの健やかな成長を支えるために、計画期間の5年間を通してさまざまな支援に取り組んでまいりました。しかしながら、平成20年9月に実施したひとり親世帯等実態調査の結果では、ひとり親家庭が経済面のみでなく生活面でも厳しい状況にあることが示されています。

また、ひとり親家庭になる理由はさまざまであり、親子が暮らす環境などもそれぞれ異なりますが、本市が目指す「子どもと子育て家庭にやさしいまち」であるためには、これらの家庭の子どもも、安心して健やかに育つ環境づくりをすすめていく必要があります。

ひとり親家庭とその家庭で育つ子どもを取り巻く問題は多岐にわたっており、解決までの道のりは決して平坦ではありませんが、このたび「第2期ひとり親家庭等自立支援計画」を策定し、引き続き、ひとり親家庭が生活を支える安定した経済基盤を確立することができるよう、母子家庭の母等の就業支援を柱に、総合的な自立支援に取り組んでまいりたいと考えています。

この計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただきました市民のみなさまや関係機関、団体の方々に心から感謝いたしますとともに、今後とも、本計画の推進に対しましても、一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成22年3月

名古屋市長 河村 たかし

目 次

第1章 計画の策定にあたって	
1 名古屋市ひとり親家庭等自立支援計画策定の経緯	1
2 第2期名古屋市ひとり親家庭等自立支援計画について	5
第2章 ひとり親家庭等の現状と課題	
1 ひとり親家庭等の状況	6
（1）ひとり親家庭等の世帯数の推移	6
（2）ひとり親家庭等になった理由	8
（3）母等の年齢など	9
（4）子どもの数と年齢	10
（5）母等の最終学歴	11
（6）ひとり親家庭等の悩み（なった当時と現在）	12
（7）相談相手	14
（8）公的制度の利用・受給状況等	16
2 就業の状況	18
（1）現在の就業状況	18
（2）ひとり親家庭等になった当時の就業状況	20
（3）仕事に就いていない理由	21
（4）本市の就業支援	21
3 収入の状況	22
4 養育費の状況	24
5 子どもの状況	25
（1）保育・放課後の状況	25
（2）修学状況	27
6 生活の状況	28
（1）現在の住居の状況、転居の希望	28
（2）家事や育児にかかる時間	29
7 ワーク・ライフ・バランスについて	30

8 まとめ ～前計画の評価と現状から見える課題～	31
(1) 母子家庭	31
(2) 父子家庭	33
(3) 寡婦	34
第3章 施策の方向性	
1 基本的な考え方	35
2 基本方針	35
3 施策目標	36
第4章 施策の展開	
施策目標1 精神的な自立のための支援	38
方策1：自立に向けた相談・指導等	38
方策2：きめ細やかな情報提供	38
方策3：仲間づくりのための支援	38
施策目標2 安定した経済基盤の確保のための支援	39
方策1：一人ひとりの状況に合わせた段階的・総合的な就業支援	39
方策2：事業主等に対する働きかけ	40
方策3：収入を補完するための経済的支援	40
方策4：養育費の取り決め・確保のための支援	40
施策目標3 生活や子どもへの支援	41
方策1：家庭生活のための支援	41
方策2：子どものための支援	42
